

民主党 神戸市会議員



安心・安全
住み良い街の
街づくり
全力投球！

「住み良い街づくり」活動がまにまにすすむ

（駅前地下街利用）活動がまにまにすすむ



（西川町センター街）又増の街並み維持



（東灘区駅前バス）「子ども歩みやすい」に与りまにまに



（高島町駅前）「又歩みやすい」に与りまにまに



（北灘）「又歩みやすい」に与りまにまに



（北灘）「又歩みやすい」に与りまにまに



民主党

神戸市議会 News

編集・発行＝民主党神戸市会議員団／TEL 078-322-5844 FAX 322-6161

市会諸役を改選

議長に田中議員 監査委員に藤原議員

第二回定例会市会が六月二十一日開会し、正副議長の選出など新しい議会諸役の選出を行い、十二日間の会期を終えて七月二日閉会しました。市会議長には民主党の田中健造議員（北区）が選出され、藤原武光議員（垂水区）が監査委員に、市会運営委員長には田路裕規議員（灘区）が就任しました。これで民主党からの正副議長は五年連続で与党派の中心軸としてます。市会運営の重責を担うこととなります。又、文教経済委員会委員長は池田りんたろう議員が、建設水道委員会委員長は橋本秀一議員が、大都市税財政制度確立委員会委員長は崎元祐治議員がそれぞれ就任しました。



就任挨拶をする田中議長（前）と
退任した田路前副議長（後）

田中議長抱負を語る

市会議長に就任した田中議員は一九七五年に初当選以来七期目で、その間副議長や市会運営委員長等を歴任。来年一月に震災十年を迎える重要な一年でもあり、「復興の総仕上げや震災から得た教訓の発信などに努め、残された課題に取り組み、雇用の拡大や産業の活性化も図りたい。」と抱負を語りました。又「市民に分かりやすい身近な議会をめざしたい。」とも述べました。

犯罪被害者制度確立へ

今定例会では指定管理者制度の導入に向けた関連条例の改正案など十七議案と報告五件が原案通り可決、承認されました。国への意見書としては①犯罪被害者の食料費などが公費で負担されるのに対し、被害者は正当な支援が受けられず、不公正な扱いを受けている。被害者が刑事裁判に参加できる制度の創設などを求めた犯罪被害者の権利と被害回復制度の確立を求める意見書②緊急地域雇用創出特別交付金制度の延長と予算規模の増額や、より地域の実情に沿った事業が行なえる制度内容の改善を求める意見書③義務教育費国庫負担制度を廃止、削減の対象とせず、制度変更があっても義務教育は国が責任を持つという現行制度の根幹を堅持する意見書④無年金者の早期救済を求める意見書が採択されました。

民主党議員団の新役員が決まりました

相談役 浜本 りつ子
 団長 荻原 伸秀
 幹事長 田路 裕規
 政務調査会長 池田りんたろう
 副幹事長 橋本 秀一
 副政務調査会長 崎元 祐治
 幹事（会社） 川内 清尚

政策協議会を設立

神戸市・横浜市の民主党市議団は、六月十八日横浜市においてかねてより準備を進めていました「政策協議会」を結成する運びとなりました。設立総会には党本部より幹事長の藤井裕久衆議院議員を迎え記念講演を行いました。

この協議会は、①真の地方分権の実現に向けて三位一体改革に取り組み、議会において最大限の努力をすること、②真に国民に開かれた政党にするため地方の声を取り入れた民主党の政策立案を進める活動を推進すること、③地方組織の強化を図り、政権交代しうる政党として地方から築き上げること、等を目標としています。今後、大阪、京都をはじめ、広く他の政令市議団にも呼びかけ、連携強化に努めます。



市会の構成

決まる

総務財政委員会
 委員 前島 浩一
 委員 大井 敏弘
 文教経済委員会
 委員長 池田りんたろう
 委員 荻原 伸秀
 委員 川原田弘子
 福祉環境委員会
 副委員長 白井 洋二
 委員 田路 裕規
 委員 川内 清尚
 建設水道委員会
 委員長 橋本 秀一
 委員 浜本りつ子
 委員 藤原 武光
 港湾交通委員会
 副委員長 土居 吉文
 委員 田中 健造
 委員 向山 好一
 都市消防委員会
 委員 崎元 祐治
 委員 横畑 和幸
 外務団体に関する特別委員会
 理事 藤原 武光
 委員 川原田弘子
 委員 横畑 和幸
 大都市税財政制度確立委員会
 委員長 崎元 祐治
 理事 向山 好一
 委員 大井 敏弘
 空港・新産業に関する特別委員会
 副委員長 田路 裕規
 委員 橋本 秀一
 委員 川内 清尚